

## 2011年度大学自己点検・評価結果について

関西学院評価推進委員会

委員長 ルース・M・グルーベル

関西学院大学の2011年度自己点検・評価結果である「2011年度大学自己点検・評価報告書」を公表いたします。

関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（PDCAサイクル）を強化するため、認証評価と連動させた自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築しました。そして、大学は2005年度の自己点検・評価報告書により2006年度に大学基準協会による認証評価を受け、「適合」の認定を得ました。2007年度からは学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価（進捗状況報告）（以下、自己点検・評価という）を毎年実施し、2009年度には毎年行ってきた自己点検・評価は行なわず、大学基準協会の評価基準などの変更に伴い評価項目を見直すと共に、目標を再検討し新たに目標設定を行ないました。2010年度は変更された新しい評価項目と新たな目標・指標に基づき自己点検・評価を実施しました。

本年度（2011年度）は、2010年度と同様の内容で自己点検・評価を実施しました。3月から関係データの作成・収集を開始し、6月より学部・部局が自己点検・評価を実施、7月には全学の自己点検・評価の実務作業を担う評価専門委員会に自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）を提出しました。8月からは評価専門委員会（学外委員6名《大学関係4名、短期大学関係2名》・学内委員10名）が学部・部局の自己点検・評価に対して「学内第三者評価」を行い、10月には自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）返却に伴い、相互に内容を説明・確認し合い、よりよい自己点検・評価や組織的な改善への取り組みを行っていくために、評価専門委員会と学部・部局が意見交換を行いました。その後、学部・部局による「学内第三者評価を受けての追加記述」と「公示」「意見申し立て」を経て、本日、関西学院評価推進委員会において「2011年度大学自己点検・評価報告書」が承認されました。

この報告書において、浮かび上がってきた「効果が上がっている事項」や「改善すべき事項」、「学内第三者評価」によって指摘された事項などに真摯に向き合い、教育研究水準の向上を図っていきたいと思います。

なお、本年度は、「総合支援センター」「日本語教育センター」が新設されました。これらの部局は目標・指標の設定を行うことをあわせてご報告いたします。

以上